

具体的手法の検証

■趣旨説明

（目的）例会趣旨を理解していただき、学びを深めていただきます。

（検証）これまでの運動の事例を、地域の伝統、青少年育成、環境問題、国際交流等の視点から説明し、四日市青年会議所が70年にわたり社会課題と向き合い、地域の発展に貢献してきたことを理解していただきました。一方で、若者の地域離れや四日市青年会議所会員の減少など、既存の調査研究やデータからお示しし、課題の提示を行いました。そして、そのような状況だからこそ、青年会議所がまちを動かす起点になることが重要であり、そのためには地域の協力団体とパートナーシップを組み、運動の効果を高めていく必要があることを理解していただきました。そして、最後に例会目的を改めて共有し、どのような気持ちで例会に臨んでいただきたいかを再確認していただきました。

■ブース出展

（目的）各団体が様々なテーマのブースを出展し地域に魅力を発信することで、地域の方々が魅力を発見、再認識し、さらにこのまちが好きになるきっかけを創出します。また、四日市青年会議所の運動を通じて、各団体とともに例会を行うことによって、青年会議所が持つ可能性が認識されて地域をさらに良くしたいと願う人々をつなげていくことができ、地域の方々にまちへの関心を高めていただくきっかけをつくることができます。また、青年会議所と協働したブース設営、運営を通して四日市青年会議所のメンバーには、様々な団体と連携して事業を広げていくことの大切さを知っていただきます。

（検証）予定していたブース全てに問題なくご参加いただくことができ、地域の魅力を感じていただくことができた。そして、本例会にご参加いただけた協力団体からは、四日市青年会議所とつながれたことで運動の広がりを実感できた、地域に貢献する機会が得られたという声もいただくことができた。また、四日市青年会議所メンバーには各ブースの補佐に当たっていただき、各団体と交流を図ることで、パートナーシップの重要性について感じていただくことができた。

【飲食ブース】

（目的）四日市で営業許可を持つキッチンカーを中心に出店を募り、マルシェを開催します。食を通じた地域の魅力発信によって、継続的なまちの賑わいにつなげていくことができます。

（検証）四日市で営業許可を持つ9台のキッチンカーにご参加いただき、当日の例会を盛り上げていただくことができた。

【eスポーツブース】

（目的）四日市eスポーツ協会様と協力してeスポーツブースを設置し、eスポーツで様々

な体験ができるお子様向けのフェスタを開催します。お子様向けの内容とすることで親世代の集客も狙い、四日市の新たな魅力を広い世代に知ってもらうとともに、地域の魅力を発信する機会として実施していただきます。

（検証）当日は子ども向けの内容としてぷよぷよを 10 台設置していただくことで、親と子の家族単位で集客することができ、新たな魅力として e スポーツを発信することができた。

【スポーツブース】

（目的）ヴィアティン三重様と協力してスポーツブースを設置し、サッカー、バスケットボール、バレーボールの選手と触れ合いながら体験できるアクティビティを中心としたブースを運営します。スポーツを通じて人々が楽しみ賑わう場を創出するとともに、ほかの地域のスポーツチームと触れ合いスポーツの楽しさなどを感じていただくことで地域のスポーツにも興味を向け応援したくなる気持ちが芽生え、地域の魅力に触れていくきっかけとなります。

（検証）当日は、ヴィアティン三重に加え女子ラグビーの)PEARLS にもご協力いただき、選手と触れ合いながらスポーツを体験していただきました。地域の子どもたちと選手がとても楽しそうに触れ合っており、スポーツを通じて人々が楽しみ賑わう場を創出することができました。

【ボルダリングブース】

（目的）三重県山岳・スポーツクライミング連盟様と協力してボルダリングブースを設置し、子どもから大人までが楽しめる 2 種類の高さの仮設ウォールによるアクティビティを運営します。

（検証）当日は、子どもから大人までが楽しめる 2 種類の高さの仮設ウォールによるアクティビティを運営し、多くの方に体験していただきました。アンケート結果からもボルダリングの人気は高かったですが、8月ということもあり、当日サンダルでこられた方や、安全面から親の承諾がないと体験できず、子どもだけで来場された方は体験できなかったことから、チラシ等で事前に注意事項を記載しておく必要がありました。

【防災ブース】

（目的）四日市市防災教育センター様と協力して防災ブースを運営します。地震体験や過去の災害から防災意識を高めるとともに、南海トラフ地震による甚大な被害が想定される地域において、発災時には適切な行動がとれるよう理解を深めていただきます。

（検証）当日は地震体験車を設置し、用意した整理券がほとんどなくなるほど大盛況でした。地震体験ができて良かった、地震体験車が一番面白かったというアンケート結果もあり、ブースとして盛り上がるだけでなく、防災意識の啓発にもつながったと考えられます。

【海洋少年団】

（目的）海洋少年団様と協力して海洋少年団ブースを運営します。海洋少年団では、少年少女に対して海洋に親しむ機会を与え、健全な育成を図る活動を行っており、当ブースでは海洋少年団の団員募集と来場者へのキーホルダー制作体験を行っていただきます。海洋少年団の団員が増えることで、まちの発展を担う健全な青少年育成につながります。

（検証）当日は多くの方にご来場いただき、海洋少年団様が用意したキーホルダー制作体験も全て使い切るほどの盛況ぶりでした。まちの発展を担う健全な青少年育成のため、団員を募集する海洋少年団様の活動の一助となり、海洋少年団様からも参加してよかったとご意見をいただきました。

【もとまち芸術予備校】

（目的）もとまち芸術予備校様と協力して、芸術作品展を運営します。もとまち芸術予備校では、将来美大受験を控えた中高校生のための基礎科コースと、大学受験を控える生徒のための受験科コースが設置されています。作品展では、生徒がこれまでに作ってきた作品を展示していただくとともに、8 月度例会のテーマでもある「まちの未来、まちへの愛着」をテーマにしたイラストを作成していただき、展示させていただきます。四日市にも高度な芸術を学べる予備校があることを知っていただく機会になるとともに、地域の団体と協力してブース出展やデザイン制作することは大学受験で非常に大きなアドバンテージとなり、地域の子どもの将来を後押しすることができます。大学進学が有利になれば、もとまち芸術予備校の価値も上がり、より多くの生徒が四日市で芸術を学ぶ機会を創出できます。

（検証）当日は、多くの作品を展示していただきました。また、ポロシャツのデザインを考えていただき、当日メンバーが着用することで一体感が生まれ、非常に良い雰囲気です。事業を展開することができました。さらに、ポロシャツのデザインをしていただくことでもとまち芸術予備校様の生徒に対して社会貢献の場を提供することができ、これは対象となる生徒の進学にも大きなアドバンテージを与えるものであり、事業後に感謝のお言葉もいただきました。その後の四日市青年会議所の活動へのつながりも構築することができました。

■委員会まとめ

（目的）青年会議所の運動においては、変革の起点となって社会課題を解決し、持続可能な地域を創ることが重要であると伝えます。本例会では、メンバーにとっては協力団体と積極的にブース運営で関わりを持っていただきパートナーシップの重要性を感じていただくこと、地域住民にとっては地域の魅力に触れることでまちへの関心を高めていただくこと、協力団体にとっては、青年会議所と連携することで自分たちの活動領域の広がり、可能性の広がりを実感していただくことを目的としており、まさに青年会議所の存在意義を

体現するために起こした事業であると伝えます。そして、これから先も四日市青年会議所が地域にとって必要な存在であると再認識していただくとともに、事業を通じて我々が成長することが、これから先の地域の発展につながっていくことを理解していただきます。

（検証）各委員会へブース運営の依頼をさせていただき、協力団体と積極的にブース運営に関わりを持っていただくことでパートナーシップの重要性を感じていただくことができ、それがこれからの四日市青年会議所運動において重要であることを理解していただいた。また、地域住民にとっては地域の魅力に触れることでまちへの関心を高めていただくこと、協力団体にとっては、青年会議所と連携することで自分たちの活動領域の広がり、可能性の広がりを実感していただくことを目的としており、まさに青年会議所の存在意義を体現するために起こした事業であると改めてお伝えし、四日市青年会議所が一丸となってそれが達成できたことをお伝えし、改めて実感していただいた。そして、これから先も四日市青年会議所が地域にとって必要な存在であると再認識していただくとともに、事業を通じて我々が成長することが、これから先の地域の発展につながっていくことを理解していただいた。